



OLIMPUS PEN-F です。

数多くの専用レンズが発売されました。

異なるシステムのレンズをマウントするために、幾つかの種類のアダプタが発売されていました。



OLIMPUS OM システムのレンズ用アダプタは純正品が存在しました。

M42 スクリューマウント（プラクチカ）やエキザクタマウント用のアダプタも純正だったようです。

各社は自社のシステムの互換性と、多くのユーザーが所持するレンズのシステムが使えるアダプタを発売しました。



OLIMPUS OM システムのレンズを EOS の EF マウントに取付けました。

機械式のシステムは、ボディーとレンズの連動ピンがミラーと干渉するものがありますが、ペリクルミラーの EOS RT はミラーが跳ね上がらないので幅が広がります。



M42 スクリュー（プラクチカ）マウントのアダプタは、多くのサードパーティから発売されています。取付けたのは YASHICA の明るいレンズです。ピントリングのゴムカバーが欠損しています。

フランジバック（レンズマウントとフィルム面の距離）の短い EOS はアダプタ遊びに最適です。



TAMRON Adaptall 交換マウントは、一つのレンズを各社の一眼レフに使用できるよう、様々な交換マウントが発売されていました。

キャノン AF カメラ用マニュアルアダプタで EOS に！ピントも絞りも、勿論手動です。



Contax N System T* Carl Zeiss レンズ (Kyocera ですが) が EOS で使えます。

カナダの Coneos Imaging Corporation という会社で EF マウントに改造しました。この改造でレンズは(遅い上に)よく迷いますが) AF と露出をボディー側で制御できます。



ミラーレスの登場でオールドレンズの世界がぐんと広がりました。

SUPER WIDE-HELIIAR 15mm F4.5 Nikon F マウントですが、レンズ後玉がフィルム面に当りそうなレンズです。Nikon F3 等のミラーアップ可能なボディー専用レンズとして発売されました。

現代のミラーレスならお手の物です。



SONY は MINOLTA のカメラ事業を引き継ぎました。世間を驚かせた α -7000、その A マウントレンズの AF と露出を制御可能な純正アダプタが発売されています。AF は快適です。

アダプタに機械式ピン、AF センサー・モーターが内蔵されており、大きな出っ張りが邪魔です。



Canon EF マウントも制限付きながら AF が使えるアダプタがサードパーティから発売されています。

電子接点付きアダプタは、PENTAX KAF、Contax G、Contax N、Nikon F などにも目にします。

マニュアルレンズ用は無数に発売されています。